
株主のみなさまへ

ほっとらいん

第92期 事業概況

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

目次

ごあいさつ	1
事業の概況	3
・販売電力量の概要	
・収支の概要	
決算の概要	5
特集	6
「新たな財務目標と 目標達成に向けた経営の力点について」	
I . 収益拡大施策の展開	
II . バランスのとれた電源構成とコスト競争力の強化	
III . 地域の復興・発展への貢献	
平成 28 年熊本地震の 発生に伴う電力の復旧応援	12
当社新役員	13

(注) 燃料費調整制度とそのタイムラグ影響・・・燃料費調整制度は、輸入火力燃料の価格変動を料金に反映させるため、燃料価格の変動に応じて自動的に電気料金を調整する制度。本制度は、燃料価格の変動が電気料金に反映するまでに一定の時間差が生じることから、燃料価格下落局面では収支改善要因に、上昇局面では収支悪化要因となる。

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚く御礼申しあげます。

ここに当社第92期事業概況（平成27年度通期）をご報告申しあげます。

当社の平成27年度決算（連結）は、電気を安定してお届けするために必要な修繕費の増加などがあったものの、急激な燃料価格の低下などによる燃料費調整制度のタイムラグ影響という一時的な収支改善要因に加え、経費全般にわたり徹底した経営効率化に継続して取り組んだことなどから、経常利益は前年度を上回る1,526億円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は973億円となりました。

平成27年度期末配当金につきましては、上記の決算の状況や財務体質の回復の状況などを総合的に勘案し、1株につき15円（年間で25円）とさせていただきます。

当社は、今年4月より、小売全面自由化という大きな転換期を迎えました。

今後、ますます競争が激しくなる中で、当社が安定した事業運営を行っていくためには、事業環境の変化や自然災害などの事業リスクへの対応力をさらに強化していく必要があることから、財務体質の改善を最優先課題と位置付け、今年1月に「2020年までに自己資本比率（連結）25%以上」という新たな財務目標を設定しました。

当社は、新たな財務目標の達成に向けて、「収益拡大施策の展開」、「バランスのとれた電源構成とコスト競争力の強化」、「地域の復興・発展への貢献」を3つの柱とし、各施策を確実に実施することで、さらなる成長を果たしてまいります。

また、この厳しい競争の時代の中にあっても、当社が競争に打ち勝ち、地域とともに成長、発展していくため、新たなコーポレートスローガン「より、そう、ちから。」のもと、お客さま

お一人お一人に“より浴う”サービスの提供や、創立以来の変わらない想いを胸に、地域に“寄り添う”取り組みを強化してまいります。

当社は、お客さまから当社をお選びいただけるよう、サービス向上に一層努めるとともに、事業を営ませていただいている東北6県および新潟県の成長・発展に、これまで以上に力を尽くしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成 28年 6月



取締役会長
海輪 誠



取締役社長
原田 宏哉